

らくのへ 議会だより

令和8年
2月6日発行

No.127



六戸町議会
ホームページ
QRコード

12月定例会 ...3

補正予算 条例改正 人事
傍聴席からひとこと

一般質問 ...4

六戸学園、高齢者福祉、診療所の運営

全員協議会 ...9

旧学校施設について

夕方の六戸学園(撮影日: 令和8年1月16日)

六戸町立義務教育学校六戸学園の校舎は、木材利用推進中央協議会主催の令和7年度木材利用推進コンクール、優良施設部門で文部科学大臣賞を受賞しました。



新年のごあいさつ

困難を乗り越え

明るい未来を切り拓く年へ

明けましておめでとうございます。
います。

日頃より、議会活動に対しまして心温まるご理解を賜り、また、適時的確なご指導とご鞭撻を賜っていることに、心から感謝申し上げます。

令和8年が皆さまにとりまして明るく、そして穏やかな年となることを心より願い、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年^{ひなと}は午年、加えて60年に一度の丙午^{ひのうま}の年であり、年が改まって以降町内のあちらこちらで、エネルギーシユで情

熱的な年になるとの言葉が盛んに飛び交っています。丙午は古来より火の作用がことさら強まると伝えられており、行動力が高まり飛躍のチャンスである一方、光と影が強調されて物事の本質が問われる一面を持ち、特に感情のコントロールが極めて重要な年であるとされています。迷っていた挑戦や変化には最適で、明るさやスピード感、経済の活性化が期待される反面、激しい気性であるが故に、突発的なトラブルにも十分に注意を払う必要があるとも言われています。

昨年は、六戸学園開校という明るいニュースがありましたが、これから始まる起債の償還に向け非常に厳しい財政運営を強いられることにもなり、まさに物事の本質が問われる一年になると思っています。

しかしながら、負の側面にばかり目を奪われていては、明るい未来を見通すことは決して出来ないこともまた紛れもない事実です。

町議会では、引き続き議会改革の推進に邁進すると共に、町民の代表機関として、町執行機関と今まで以上の緊張感

を持ち、切磋琢磨していきたいと思います。町民の皆さまには、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

丙午の本年が、平穩無事であり、明るいニュースに満ちあふれる一年となることを願い、皆さまにとりましても心穏やかで、実り多き中で過ごせる年となることを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和8年1月

六戸町議会議長

下田 敏美

12月定例会

職員給与の一部改正、補正予算など可決



12月定例会の様子

12月定例会は令和7年12月5日から9日までの5日間の会期で開かれました。条例改正や補正予算など14件の案件が町長から提出されました。

審議した結果、議員全員賛成で原案通り可決されました。

一般質問には4議員が登場。今回は初の総務常任委員会代表質問も行われ、六戸学園について、診療所の運営、町政の運営について、町の考えを問いました。

なお、主な審議等は次のとおりです。

条例

◇町議会議員の期末手当額を引き上げ

うち、補正の主な内容は次のとおりです。
(詳しくは8ページの表をご覧ください)

◇町特別職の期末手当額を引き上げ

諸般の情勢から、町議会議員、特別職員の期末手当の支給割合を年間で0・1月分引上げます。

◇一般職員の給与に関する一部を改正

青森県人事委員会からの職員給与等に関する報告及び勧告等を踏まえ、職員の給料月額並びに初任給調整手当、通勤手当、宿日直手当、期末手当、勤奨手当の額等を改定します。

▽解体予定施設(旧小中学校等)の物品廃棄物処理業務ほか 2500万円

▽ふるさと納税寄附謝礼 1062万円

▽防災マップ更新業務ほか 580万円

▽三沢衛生センター解体事業負担金 185万円

▽特別支援学級の学級増加対応のための備品 574万円

補正予算

◇一般会計を1億841万円減額

令和7年度の一般会計補正予算は、歳入歳出から1億841万円を減額し、総額が8億4423万円となりました。

人事案件

◇町監査委員を選任

議員から選任された監査委員種市正孝氏が、令和7年11月3日に逝去されたことに伴い、後任の監査委員として高坂茂氏を選任しました。
任期は令和9年4月30日までです。

傍聴席からひとこと

質問をわかりやすく

議員さんの質問が長すぎる方がいるように思う。
(女性 70代)



傍聴者の声を聞く場を

一般質問終了後、傍聴した町民の声を聞く場があつてほしい。
(男性 70代)



診療所運営について

町診療所が継続できるように検討して欲しいと思います。改善できるところもあると思います。
(女性 60代)



いただいた意見は議員全員で回覧いたしました。貴重なご意見ありがとうございます。



総務常任委員会代表質問
こうさか しげる
高坂 茂 議員

スクールバス停留所に屋根を

場所の確保が難しいー町長

問 スクールバスの乗降場所や停留所に、雨や雪よけ用の屋根を設置する考えは。また冬期間の除雪体制は。

町長 スクールバスの停留所は61箇所あり、乗降者が多いところでは最大121名、100名を超える停留所が3箇所あります。また、屋根を設置する場所がない停留所や、年度によって場所を変更する停留所もあります。

そのため、現状では、各停留所へ屋根を設置するこ

とは難しいと考えます。

冬期間の除雪については、除雪可能な業者及び町所有の重機等で実施する計画となっています。

問 各停留所への屋根設置が難しいのであれば、校舎のスクールバス乗降場所だけでも屋根の設置をしては。

町長 当初の設計段階では屋根設置の計画がありましたが、予算の都合上、実施を断念しました。

今後、検討していきたいと考えています。

問 スクールバス内でのトラブルへの対応は。

町長 今のところ大きなトラブルの報告はありません。

トラブルが発生した場合は、各担当と速やかに情報を共有し、対応していきたいと思えます。

問 文部科学省は公立中学校の部活動改革を推進するため、令和7年12月に指針を策定し、休日の部活動禁止が打ち出された。当町の部活動の地域移行の取り組み状況は。

町長 教育委員会が令和5、6年度に、六戸町スポーツ等の活動における地域移行検討協議会を立ち上げ協議してきました。

指導者が確保できる部活動から順に地域移行を進めており、サッカー、ゴルフ、バスケットボールが地域の指導者と共に活動しています。

問 現在、文化部の部活動は吹奏楽部のみだが、新たに文化部を創設しては。

町長 学校の部活動は学校が主体的に行うものであり、町は学校と連携しながら支援する立場にあります。そのため、町としては文化協会各団体の活動内容を子供たちに示し、希望に応じて、各団体に協力をお願いしていましたが、希望者は、おりませんでした。

ICTルーム、今後の活用は

インターネットを介した国際交流を検討ー町長



六戸学園内にあるICTルーム

問 六戸学園には、最新のICTルームがあるが、その活用状況は。また、国際交流などでも有効活用が可能だと思うが、将来の展望は。

町長 活用状況は、ほぼ毎日、授業で活用をしています。

国際交流などでの活用については、私も同様の考えであり、インターネットを介したオンラインミーティングなどは可能だと考えています。様々な地域と国際交流ができないか、今後検討していきたいと思えます。



まつむら えいこ 議員
松村 英子

町の高齢者のみの世帯は

令和7年3月末で878世帯 — 町長

問 日本は子供が減少し、老々介護が増加している。少子高齢化社会になってきているが、当町の高齢者世帯数は何世帯か。

町長 令和7年3月末現在の65歳以上の高齢者がいる世帯は2532世帯、高齢者のみの世帯は878世帯、その内、高齢者の一人世帯は466世帯です。

問 困窮している高齢者を孤立させないなど、高齢者の福祉の重要性をどのように考えているか。

町長 当町の高齢化率は令和6年度末で34.68%と、10年前より4.73%増加の状況で、今後は更に加速していくと思います。

町としての高齢者福祉の目指すべき方向は、健診事業での病気の早期発見・早期治療、会話や食事を通して、他者・地域とのつながり、認知症予防につなげる介護予防事業等、介護を必要とする人を減らし、高齢者の福祉を充実させることにより、住み慣れた地域で互いに支え合い、健康で安心して長く暮らせる地域づくりが必要であると考えています。



高齢者が健康で生活できる町へ

問 先日の新聞で、県内で孤独死74人、内13人は1か月以上未発見と掲載されていた。当町でも同様の事案はあるか。

介護高齢課長 当町でも同様の事案は発生しています。そのため、町内各地区に配置されている見守りサポーターが安否確認など、日常的な見守りを行っており、民生委員や児童委員と連携し情報共有をしてもらい、異常があれば介護高齢課へ連絡をいただくようお願いしています。

町では、徘徊の可能性がある方については、家族、警察署と連携し、徘徊高齢者等支援事業を実施し、徘徊等で行方不明になった場合には、町の防災アプリや、防災放送を通じ、行方不明者の情報を提供する仕組みを整えています。

町女性管理職の昇任は

適正に実施 — 町長

問 町職員の女性の管理職は何名か。

町長 医療職等を含めた全職員110名のうち、課長職には女性職員はおりませんが、女性活躍推進法に基づく報告では診療所の看護師長が管理職に分類されるため、女性管理職は1名となります

問 13名の管理職の中に女性管理職の昇任は適正に行われているか。

町長 管理職への昇任等は適正に行われていますが、職員の年齢構成などの理由により、現在は女性の課長職はおりません。しかし、課長補佐職には4名の女性職員がいますので、今後は昇任も考えています。



女性管理職を増やす取り組みを

今は性別、年齢ではなく、優秀な人材であれば、若くても管理職に就く時代だと思えます。そのような流れを行政にも導入し、優秀な職員育成に努めていきたいと考えています。



まつはし かずお 議員
松橋 一男

意欲のある医師を町診療所へ

現在のところ考えていない — 町長

問 町診療所は、今までどのような内科的なアプローチではどうにもならない。

患部を切除するか新しい血を入れるとか外科的手法を取らなければならぬのではないかと。特に意欲ある医師の確保が必要では。

町長 医師確保については現在のところ考えていませんが、限られた医療資源を有効に活用し、効果的な診療体制を構築していくための一つの手段だと思います。

これまで同様、県や医師

会、関係機関との連携を図っていきたくと考えています。

問 十和田市には分娩ができる産科はなく、近隣市町村でも分娩ができる産科が減っている。

少子化対策が叫ばれている今こそ、町診療所へ分娩ができる産婦人科を設置しなくては。

町長 産婦人科医は慢性的な人材不足が続ぎ、安心して妊娠、出産を迎えることが難しい状況が県内

どこの地域でも続いている

状況です。上北圏域内も例外ではありません。当診療所に産婦人科を設置するならば、施設整備等の体制を整えた上で、医師の確保に向かわなければならず、現状では大変困難な状況であるため、産婦人科設置は現実的でないと考えます。



県内の産科は減少傾向

スマホ規制条例を制定しては

考えていない — 町長

問 愛知県豊明市で、1日のスマホ使用時間は2時間を目安にという、スマホ規制条例が令和7年10月1日から施行された。い

じめ、性被害、闇バイト等の犯罪、ネット上にはさまざまな情報があるため、当町でも何らかの規制が必要では。

町長 公共の場所における歩きスマホを禁止する条例や、仕事や勉強以外の自由時間でスマホの1日の利用時間を明示した条例を制定した自治体もあります。

当町では、スマホの利用等を制限しなければならぬ事案は今のところ確認されていないため、ご質問のスマホ規制条例の制定については考えていません。



生活の必需品となっているスマホ



やまもと みのる
山本 実 議員

今後の町政運営は

安心して暮らし続けることができる町へ — 町長

問 前町政から継承した
施策方針をどのように
実行していくのか。

町長 前町政からは町の
シンボルとなる六戸
学園を引き継ぎました。今
後は児童生徒へのソフト面
での充実を図るため、教育
内容等の充実、ICT教室
を活用した特色ある教育の
充実に努めていきます。前
町政から引き継いだ施策で
あっても、その時々状況
に即した判断をしながら継
承、実行していかなければ
ならないと思っています。

問 前町政の見直しや改
革が必要と考える分野
はあるか。

町長 就任以来、町国民
健康保険診療所につ

いて、見直しと改善が必要
と考え管理者に対し様々な
意見をあげてきました。こ
れから厳しさを増していく
町の財政状況の中で慎重な
判断をしていかなければな
らないと思っています。

問 この2年間を振り返
り、佐藤町政の自己評
価は。

町長 これまでは前町長
から託された六戸学
園の建設・開校に力を注い
だ2年でした。今後は六戸
学園を中心に町の教育の充
実を進め、子育て・教育の
充実した町として、移住者
増加の一役を担うような学
校教育を推進していきたく
と考えています。

私のこの2年は町の現状
の把握に努め、私自身が身
をもって直接声を聴き・体
験し、各地域の問題や要望
等、その意見を集約し、ス
ピード感をもって対応・実

行させていただいた2年で
した。

問 今後、どのような町
へと導いていくのか。

町長 健康であることを
大切にす六戸。次
代の子どもを育てる六戸。
稼ぐ地域を創る六戸。安心
に暮らし、ひとが集う六戸。
この4つを柱とし、具体
的には、保険医療福祉サ
ビスの構築、介護予防強化、
食育推進、心と体の健康づ
くりを進めていきます。ま
た、子供達を地域で守り育
てる体制の構築に加え、農
畜産業分野の支援と成長促
進、農商工観の育成と起業
しやすい環境整備など、地
域の特性を生かした仕事の
創出。災害に強い地域づく
り、移住・定着の促進、生
活インフラと環境の再整備
など、安心して暮らし続け
ることが出来る町を目指し
ていきます。

町診療所の今後は

令和8年度末までに廃止予定 — 町長

問 町診療所は毎年約1
億8千万円の赤字を抱
えている。町が事業主体と
して運営をするのではなく、
民間の専門機関に経営を委
ねては。

町長 町の高齢者人口の
増加や人口減少が進
む2040年とその先を見
据え、すべての地域・世代
の患者が適切に医療・介護
を受けながら生活し、日常
生活に戻ることが出来るよ
うな、地域のニーズに込
えるために、現在の診療所経
営を令和8年度末までには
廃止したいと考えています。

診療所を受診している患
者さまに対しては、不安の
解消に努め、誠意を持って
対応してまいります。

問 地域の医療提供体制は用
意し、内容については、今
後順次伝えていきます。

町長 町診療所で働く職員
の今後は。
行政職員として働
ける環境を準備する
予定です。



令和8年度に廃止予定の町診療所

議案名		採決賛否	審査結果	採決日
報告	令和6年度六戸町一般会計継続費精算報告書について(継続費に係る六戸町立義務教育学校六戸学園建設工事等が令和5、6年度の2か年をもって完了した報告)		報告	
規約変更	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組規約の変更について(青森県市町村職員退職手当組合の構成団体である黒石地区清掃施設組合が令和8年3月31日をもって解散することに伴い、組規約から「黒石地区清掃施設組合」を削除)			
	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組規約の変更について(青森県市町村総合事務組合の構成団体である黒石地区清掃施設組合が令和8年3月31日をもって解散することに伴い、組規約から「黒石地区清掃施設組合」を削除)			
条例	六戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(六戸町議会の議員の期末手当の支給割合を改めるもの)	全員賛成	可決	12月9日
	六戸町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(六戸町特別職の職員の期末手当の支給割合を改めるもの)			
	六戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(青森県人事委員会からの職員の給与等に関する報告及び勧告を踏まえ、職員の給料月額並びに初任給調整手当、通勤手当、宿日直手当、期末手当及び勤勉手当の額等を改定するもの)			
	六戸町公共施設等整備基金条例(将来の公共施設等の新設、更新、改修、除却の財源を安定的に確保するために新たに基金条例を制定)			
令和7年度補正予算	一般会計補正予算(第4号)(1億841万円を減額補正)			
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)(1212万円を増額補正)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第3号)(660万円を減額補正)			
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)(13万円を減額補正)			
	国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)(1862万円を増額補正)			
	下水道事業会計補正予算(第2号)(収益的収入9万円増額補正、収益的支出34万円増額補正、資本的支出9万円増額補正)			
人事	六戸町監査委員の選任(高坂茂氏(堀切)=新任)	全員起立	同意	

議会を傍聴しませんか？
 議会傍聴はどなたでもできます。
 途中入退室は自由です。

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな事項が審議されています。

町政への知識を深め、町政を身近に感じてみませんか。次回は3月に開催予定です。

☎ 議会事務局 ☎55-4547



全員協議会

旧学校施設解体の進捗を確認

令和7年11月25日に全員協議会が開かれ、町側から5件の案件について報告がありました。その一部を紹介します。



旧六戸中学校

令和8年度に、旧六戸中学校、旧七百中学校(校舎)、旧六戸小学校、旧勤労者体育センター、七百地区公民館、ふれあい昭陽館を解体するため、現在、解体設計を進めています。

解体費用の抑制及び民間事業者による利活用を図るため、旧六戸小学校、旧六戸中学校、旧七百中学校、旧勤労者体育センターについて、建物等施設の購入希望を一般公募しましたが、応募はありませんでした。

ただし、建物の売買に興味を持っている事業者があるため、令和8年度当初から始まる、解体作業に遅れがでない形でもう一度、一般公募を行う予定です。

旧小中学校の物品等の処分

旧小中学校に残されている備品については、50町内会中、10町内会に対し、物品等の無償譲渡を11月9日に実施。また、町内の団体(社会福祉協議会、商工会、こども園、社会福祉施設、スポーツ協会、文化協会)を対象とした物品の無償譲渡は、11月26~28日まで実施。町民に対する無償譲渡は12月14、15日の2日間で実施しました。

また、旧六戸小学校、旧六戸中学校、旧七百中学校に残されていた、ピアノの入札を11月19日に行い6物件中2件が落札されました。

解体しない旧小中学校の今後は

旧七百中学校の講堂、旧大曲小学校、旧開知小学校は、災害時の避難所や選挙の投票所、屋内スポーツ場、備品の保管場所など公共施設として利活用を検討する予定です。

検討の結果、利活用の方法がない場合、民間事業者に対し、利活用の提案募集を行う可能性もありますが、その都度、協議していきます。



廃止が決定した小松ヶ丘出張所

小松ヶ丘五丁目に開設している小松ヶ丘出張所は、利用者の減少などを理由に、令和8年3月17日の開所日を最後に廃止します。

小松ヶ丘出張所を廃止

平成22年に事業を開始した、若者定住支援事業補助金事業は、申請者数減少の理由で、令和7年度末で事業を終了とします。令和7年度中に申請があったものについては、補助金交付期間の令和9年度末まで交付します。

若者定住支援事業補助金
令和7年度末で事業終了

青森シャモロック ザ・プレミアム#6の生産終了

六戸町の特産品をけん引してきた、青森シャモロック ザ・プレミアム#6の生産が終了することになりました。町のPRとして大きな役割を果たしてきてくれたと感じています。

関係者の方々のこれまでの努力に対して心から感謝申し上げます。

とはいえ、町の貴重な財源であるふるさと納税を考えた時に新たな特産品の開発が急務であると考えます。微力ではありますが商品開発に向け尽力してまいります。

盛田 嘉彦



六戸町特産品として活躍した、青森シャモロック ザ・プレミアム#6

Interview



生徒会役員

たけ うち ゆ づき
竹内 夢月 さん[㊟]

く ぼ てっ ぺい
久保 徹平 さん[㊤]

なが みね
長峯 あず さん[㊦]

- プロフィール…久保徹平さん (生徒会長、8年生、小松ヶ丘在住、旧七百中学校出身、趣味、映画鑑賞、読書)
- 竹内夢月さん (生徒会副会長、8年生、折茂在住、旧六戸中学校出身、趣味、歌を歌うこと、絵を描くこと)
- 長峯あずさん (生徒会副会長、7年生、鶺野在住、旧六戸小学校出身、趣味、食べること)

オンラインでの 選挙演説

久保さん これまで体育館で行われていた生徒会選挙演説が、今回は感染症対策のため、六戸学園内にあるメディアルームからオンライン中継で各教室の児童生徒（6年生以上）に向けて行われました。選挙演説では、聞き手の表情が見えないので、聞きやすい話し方や表情を意識して行いました。オンラインでの選挙演説が可能になったのも、六戸学園だからこそだと感じています。

生徒会として

久保さん まずは、活気のある学園を目指しています。意見箱を設置して、そこから集められた意見をもとに話し合いを重ね、生徒全員の意見が学校を動かす仕組みをつくりたいと考えています。

竹内さん 私は、この学

園をみんなが笑顔でルールを守れる楽しい学園にしたいと考えています。また後期課程や前期課程の交流をもっと深めたいと思っています。

長峯さん 学年委員を経験してみてもっとリーダーシップをとり、全校生徒をまとめてみたいと考えたため立候補しました。また、六戸学園は開校されたばかりなので、様々なところから注目されています。そのため、もっとイベントを企画して、学園を盛り上げていきたいと思っています。

六戸学園について

久保さん 学園は児童生徒数が多くて元気があって良いのですが、場面によっては態度を切り替えられないことも多いです。元気がいいところはそのまま継続して、場面ごとに節度を守る行動ができるようになってもらいたいです。



児童生徒会役員選挙の様子

竹内さん 学園は賑やかで楽しいです。ただ、授業中に私語や居眠りをしている子がいるので、キャンペーン等をして、直していかたいいなと感じています。

長峯さん 学園に町図書館が併設されているので、蔵書が充実していて利用していて楽しいです。学園に不要物を持ってくる児童生徒が多いので、ルールを守る意識づくりを啓発していきたいと考えています。

編集後記

昨年は、日本で初めて女性の高市首相が誕生し、「熊」と「米」のニュースばかりが目立った年でした。また当町では、小学校五校の統合による青森県で初めての義務教育学校「六戸学園」が開校致しました。

当町議会でも、六戸学園の保護者と意見交換会を開催し、様々なご意見・ご要望を頂きながら、町内会や町民へ旧学校の備品の払い下げ等を町側に要望したところです。今年も今年です。町民の皆様にとりまして飛躍の年となりますよう、そして災害の無い安心安全な年でありませう、皆様のご健勝ご多幸を祈念しながら編集後記と致します。

広報委員 杉山 茂夫

議会広報委員会

- 委員長 松橋 一男
- 副委員長 松村 英子
- 委員 盛田 嘉彦
- 委員 長根 一彦
- 委員 杉山 茂夫
- 委員 高坂 茂

発行責任者

- 議長 下田 敏美

取材 高坂 茂
長根 一男